市立秋田総合病院広報紙

ふきのとう

fukinoto

2019
夏号
No.041

新病院イメージ図

病院改築事業は、令和２年１月の本体着工を目指し、現在実施設計が大詰めを迎えております。先行して本年３月に着工した立体駐車場建設工事は、おかげさまで順調に進んでおります。

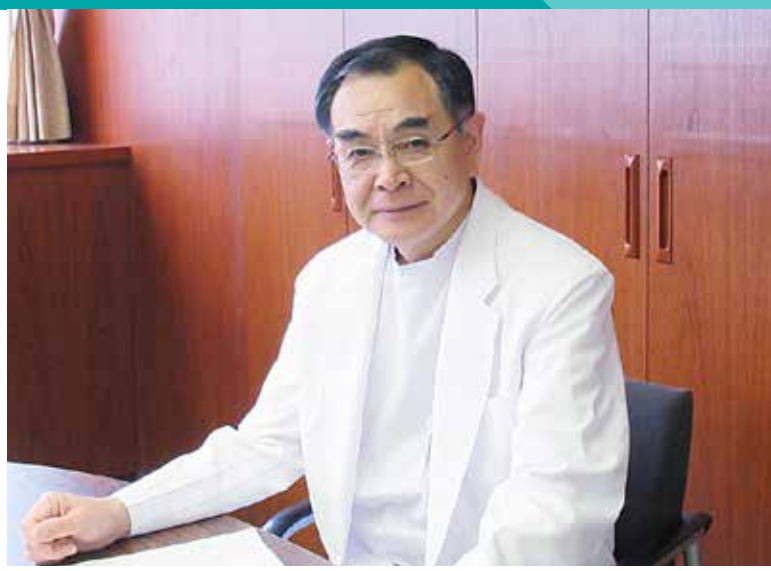
今後とも、地域に根ざし、末永く愛される病院となるよう、職員一丸となって取り組んでまいりますので、どうぞよろしくお願いします。

病院改築スケジュール

	H29年度	H30年度	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
立体駐車場建設			建設工事	※R2年3月 供用開始予定				
病院本体建設		基本設計	実施設計	建設工事		開院準備	※R4年11月 開院予定	
				医療機器等整備				
				医療情報システム整備				
旧病院解体								
外構整備								

理事長あいさつ

理事長　伊　藤　誠　司



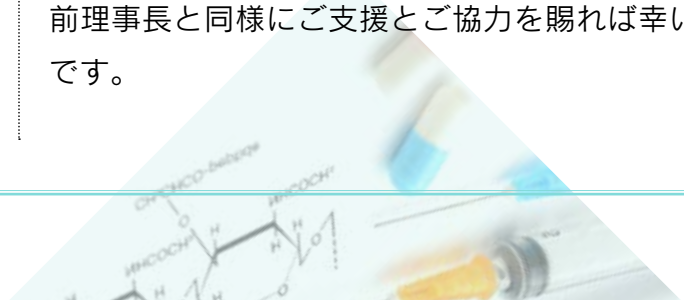
４月から小松前理事長の後任として理事長を拝命しました伊藤です。市立秋田総合病院をご利用の皆様にご挨拶を申し上げます。

当院の現在の建物は昭和59年（1984年）に完成し、35年経過しております。2011年の東日本大震災をはじめとする大小の地震にも耐えてきましたが、上下水道の配管や電気設備の老朽化が進んできたこと、設計当時の６人部屋を中心とした構造で個室が少ないことなど、これからの医療や住民の皆様の要求に不足する部分が目立ってきております。これらの問題点を解消しつつ、高齢化の先進地域である秋田の医療に対応するように新築工事を施工中です。

新築計画はその第１歩として立体駐車場の建設工事が始まり、立体駐車場が完成後には現在の第１駐車場とロータリー区域で本体工事が続きます。この間には病院を利用される皆様や周辺地域に居住される皆様に大変な不便をおかけすることになりますが、交通の安全や案内には十分に配慮しながら進めますのでご協力をお願い申し上げます。

さて、これまでは病院内で完結するような医療が求められてきましたが、高齢化や少子化等による日本全体や地域社会の大きな変動の対策として病院と地域の保健医療施設（診療所や介護関係機関・施設など）が一体となって住民の皆様の健康で人間らしい生活を守る地域完結型の医療を実践するように求められています。市立秋田総合病院でも皆様の健康を願う期待に添えるように運営していくために、皆様の「かかりつけ医」の先生や地域の保健医療施設・機関との間での連携を深めていく事を重要な課題の一つとしておりますので、医療上や療養上の不安がありましたら、是非地域医療連携室をご利用してください。

今後も力の限り地域医療の確保とよりいっそうの充実ならびに皆様の健康で人間的な生活を守るために努力していく思いでありますので、前理事長と同様にご支援とご協力を賜れば幸いです。



『女性泌尿器科外来』新設について

泌尿器科　三浦　喜子

当院泌尿器科では、以前より女性特有の病気である骨盤臓器脱や尿失禁の治療を行ってきました。今年４月からは専門外来として『女性泌尿器科外来』を新設させていただくこととなりましたので診療内容についてご紹介させていただきます。

⑴骨盤臓器脱　骨盤を支える筋肉や靭帯がゆるむことで、膀胱や子宮、直腸が膣の壁を押して脱出する病気で、膀胱瘤、子宮脱、直腸瘤があります。股にピンポンボール大のものが出てくる、入浴したときやトイレで陰部を拭いた時に膣から腫瘤のようなものが触れる、などの症状で気づくことが多いです。ペッサリーや専用の下着の装着で経過をみることも可能ですが、きちんと治すためには手術が必要となります。手術は膣から行う『ＴＶＭ手術』と、腹部から行う『腹腔鏡下仙骨膣固定術』の２種類があり、患者さんの状態によって術式を選択しています。

⑵腹圧性尿失禁　咳やくしゃみをした時、重いものを持った時に尿が漏れてしまう病気です。どれくらい尿が漏れているかをパットテストで確認し、軽症の場合は骨盤底筋体操を始めたり、内服治療を併用します。失禁量が多い場合は『ＴＯＴ手術』や『ＴＶＴ手術』という尿道を支える手術を施行します。

⑶過活動膀胱　①急に尿意をもよおし、我慢できない　②日中に８回以上、夜間寝ている時に１回以上トイレに行く　③急な尿意のために、トイレまで我慢できずに漏れてしまうことがあるこのような３つの症状がある場合には過活動膀胱の可能性があります。検尿や超音波検査、残尿測定などの検査を施行し内服治療を行います。他には、排尿日誌を記載してもらい生活習慣の改善についてもご相談しております。

以上、このような３つの疾患を中心に診療を行っております。診療日は月曜・金曜の午後、完全予約制です。専門外来を新設することで、より多くの方に診療を受けていただければと考えておりますので、受診をご希望される方は当院予約センターよりご予約をお願いいたします。

皮膚・排泄ケア認定看護師について

皮膚・排泄ケア認定看護師　舟山　聡美

皮膚・排泄ケア認定看護師という名称は、他の認定看護師よりも活動内容がわかりにくいと思います。まずは、皮膚・排泄ケア認定看護師の活動内容をお話します。

皮膚・排泄ケア認定看護師は、英語でＷＯＣＮと表記されます。Ｗ（wound＝創傷）Ｏ（ostomy＝オストミー：人工肛門、人工膀胱）Ｃ（continence＝失禁）Ｎ（nurse＝看護師）を意味し、医師の指示のもと、これらのケアを専門に行う看護師です。

創傷では、褥瘡（床ずれ）、術後創傷などが含まれます。院内では、毎週水曜日に褥瘡回診を行っており、医師、看護師、薬剤師、理学療法士、栄養士、事務職員とともに、褥瘡保有者のケアについて相談し、治癒を目指しています。

人工肛門、人工膀胱については、外来受診の際に、患者さんのＱＯＬに合わせたケア方法を継続できるように支援しています。

失禁ケアは、おむつ関連皮膚障害や、疾患に伴う排泄障害についてケアを提供しています。この通り、活動範囲は広く、多種多様なケアを専門的知識に基づいて提供することが求められています。

この領域で考慮されることは、患者さんのほとんどが、悪性腫瘍に対する治療の苦痛、今後の経過に対する精神的苦痛、ケアに必要な物品を用意しなければならないという経済的（装具費用、在宅介護費用等）負担、他者との排泄形態の相違に関する精神的苦痛を抱えていることです。私たち皮膚・排泄ケア認定看護師の役割は、創傷、オストミー、失禁に関する局所的なケアを行うだけではありません。その患者さんやご家族に対し、現在抱えているさまざまな苦痛を理解と共感を持って寄り添い、看護を提供することが役割であると考えています。病気とともに生きる患者さんやご家族の支えになれるよう、日々の看護に取り組んでいきます。

新規職員採用職員研修

平成31年度採用の新規採用職員を対象とした研修が4月に行われました。

理事長、副理事長、卒後臨床研修センター長、副看護部長、看護師長および事務局長が参加し、新規採用職員と懇親を深めました。

また、「当院のマスコットキャラクターを考える！！」をテーマに設けて、グループワークを行いました。当院のスローガンは“すべては患者さんの笑顔のために”です。どのグループも自由な発想で患者さんやご家族などが思わず微笑んでしまうようなキャラクターを描き、熱意ある発表をしていました。

新規採用職員の抱負

看護部　佐々木　瞳

この度、八階北病棟に配属になりました看護師の佐々木瞳と申します。

早いもので働き始めて一ヶ月が経過しました。不安と緊張の日々が続いていますが、仕事に責任を感じながら、業務を覚え独り立ちできるように頑張っています。患者様とその御家族との関わりにおいて、小さな変化にも気づき、寄り添っていけるような看護ができるよう日々精進して参りますので、ご指導のほどよろしくお願いいたします。

検査科　時田　尚文

今年度から臨床検査技師として採用になりました、時田尚文と申します。

私は秋田市で生まれ育ち、医療を通して秋田市に恩返しをしたいと考えていました。４月から毎日が勉強の日々ですが、患者様の笑顔のために全力を尽くすことのできる臨床検査技師を目指して精進したいと思います。

まだまだ未熟者の私ではありますが、誠心誠意努力して参りますのでご指導のほどよろしくお願いいたします。

災害拠点病院に指定されました

当院は、平成30年８月20日に県から災害拠点病院の指定を受け、その際に緊急車両を配備しました。

緊急車両は、医療チームの災害現場への派遣、防災訓練時、入院患者さんの転院搬送時になどに運用します。

- 災害拠点病院は、災害発生時に災害医療の中核を担う病院として位置づけられており、初動医療救護班の派遣や搬送重症患者に対する救命救急医療を行います。

「地域医療連携室」をご存じですか？

平成18年の医療法改定から国では地域医療連携を推進しています。地域の中核病院と周辺の診療所でその機能に応じて適切な役割分担をし、地域で一体となって患者さんを診るシステム作りが進められてきています。たとえば、普段は家の近くのかかりつけの診療所で診てもらい、大きな検査や入院治療が必要な場合、市立病院で診るのが、地域一体型の連携した医療体制といえます。

当院では、地域の先生方と密接に連携し、患者さんの治療に当たっています。その**橋渡しをしているのが地域医療連携室**です。紹介状の受付や逆紹介の手続き、入退院調整や患者支援、医療相談、勉強会等の開催など様々なお仕事をしています。

今回は、先日行われた市立病院の医師と地域の先生方との勉強会の様子をご紹介します。当院に紹介された患者さんが、ベストな治療が受けられたかどうか、熱心な議論が行われました。

地域医療連携の会 会員紹介

はしづめクリニック　橋爪　隆弘 先生

□診療科目：乳腺外科、内科
□資　　格：外科学会専門医

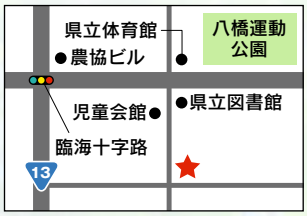
はしづめクリニック院長の橋爪です。平成23年以来約400名の乳がんの患者さんの診断、治療を行ってきました。現在、乳がんと診断された患者さんを市立病院乳腺外科に紹介し、片寄喜久科長とともに手術を行っております。患者さんは手術後は治療が一段落した段階で、クリニックへ通院となり、フットワークのよい病診連携を行っております。

乳がんでは、抗がん剤治療が必要な方が3割ほどおりますが、市立病院の化学療法室で治療を実施しております。

乳腺外科担当の看護師のみならず、手術室、放射線科など多くの職員にお世話になっており、この場を借りて感謝申し上げます。

秋田市乳がん検診は、平成30年度約1600名が受診しております。乳がん検診や乳腺の異常がある場合は丁寧に診察させていただきます。今後も秋田県の乳がん診療の質の向上を目指して、連携を深めていきたいと思います。

今後ともよろしくお願いいたします。



曜　日	月	火	水	木	金	土	日
8:30～12:00	○	○	○	－	○	○	－
14:00～17:30	－	○	－	－	○	－	－
14:30～18:00	○	－	○	－	－	－	－
12:00～15:30	－	－	－	－	－	○	－

●電　話　018-883-3388　●休診日　木・日・祝
●HP　http://www.hashizume-clinic.jp

夕暮れ乳がん・子宮頸がん検診を実施しています。

当院では「秋田市の乳がん・子宮頸がん検診」を実施していますが、お仕事などで日中の受付時間に来院できない方のために、夕方５時から「夕暮れ乳がん・子宮頸がん検診」も実施しています。大切なあなたの健康のために、お仕事帰りにお気軽にご利用ください。

対　　象	秋田市の乳がん・子宮頸がん検診対象者の方　※詳しくは、当院のホームページをご覧ください。
実施期間	7/17、8/7、8/21、9/4、9/18、10/2、10/16、11/6、11/20、12/4、12/18、1/15、2/5、2/19、3/4（乳がん検診のみ）
受付時間	●乳がん検診 17：00 ～ 18：30　　●子宮頸がん検診 17：00 ～ 18：00
予約方法	検診希望日の前日までに電話で予約してください。（事前予約制） ●予約先　「電話予約センター」　電話018-867-7489 ●時　間　午前９時～午後３時（土・日・祝日を除く）

院内教室・健康講座のお知らせ

当院では、市民の方を対象に各種院内講座や健康講座を開催しています。ご参加をお待ちしております。詳しくは、当院のホームページをご覧ください。

テーマ・内容	開催日	場所	参加費／申込み	問い合せ先
転倒予防教室	年２クール （１クールにつき４回実施）	２階講堂	初回のみ 4,500円／必要	経営企画室
肝臓教室	年６回	２階講堂	無料／不要	医事課
糖尿病教室	原則毎月第２火曜日	２階講堂	無料／不要	医事課
こころの教室	年２回（予定）	２階講堂	無料／不要	４階病棟
がんサポート教室	年６回	２階講堂	無料／不要	がん相談支援センター
呼吸教室	年６回	２階講堂	無料／不要	リハビリテーション科外来
ＩＢＤ教室	年２回	２階講堂	無料／不要	総務課

市立病院＆あらや健康セミナーのご案内

当院では、脳卒中やがんなど生活習慣が関係する病気を予防するため、日々の生活習慣を見直し、健康的な習慣を身につけることを目的とした健康セミナーを開催しております。どなたでも参加できますので、お気軽にお越しください。

■ **時間：午後３時～４時**　■ **場所：西部市民サービスセンター**

開催日	テーマ	演者
７月26日（金）	口コモ①	整形外科医師、理学療法士
８月23日（金）	消化管のがん	消化器内科医師、消化器外科医師
９月27日（金）	糖尿病	糖尿病･内分泌内科医師、管理栄養士
10月25日（金）	認知症	精神科医師、認知症認定看護師
11月22日（金）	呼吸器感染症、貧血	呼吸器内科医師、血液･腎臓内科医師
12月27日（金）	がん	消化器内科医師、乳腺･内分泌外科医師
１月24日（金）	口コモ②	整形外科医師、リハビリテーション科医師
２月28日（金）	高血圧	循環器内科医師、管理栄養士
３月27日（金）	がん	消化器内科医師、消化器外科医師

編集・発行／市立秋田総合病院　令和元年７月５日発行
〒010-0933　秋田県秋田市川元松丘町４番30号　Tel（代表）：018-823-4171　Fax：018-866-7026
E-mail：ro-homn@city.akita.akita.jp　　http://www.akita-city-hospital.jp/